

明るい 漁村

2022. WINTER

vol. 184

発行日/令和4年12月9日発行

- 2 漁業協同組合JFしまね
第17回通常総代会
- 3 令和3年度決算状況
- 4 令和4年度事業計画
- 6 TOPICS
- 10 第42回島根県海の子絵画展
- 12 境港水産物地方卸売市場
2号上屋完成

第六十八
かがみ丸



宝吉丸



イメージキャラクター とび丸くん

A K A R U I G Y O S O N

第17回通常総代会

総代会は冒頭に岸 宏JFしまね会長
の挨拶で開会、議事に移りました。議
長には隠岐地区・大西寿春総代が選任され、
以下の通り審議がなされました。

- 第一号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分案に関する件
- 第二号議案 令和4年度事業計画に関する件
- 第三号議案 令和4年度における借入金の上乗りに関する件
- 第四号議案 定款の一部改正に関する件
- 第五号議案 監事監査細則の一部改正に関する件
- 第六号議案 令和4年度における理事及び監事の報酬に関する件
- 第七号議案 令和4年度賦課金の徴収に関する件
- 第八号議案 役員退任慰労金支出に関する件
- 第九号議案 役員補欠選任(理事1名)に関する件

提出された全九議案とも原案通り承認され、岸会長より新役員の井上孝夫理事を紹介し、総代会は終了しました。



隠岐地区 大西寿春 議長

JFしまね 岸 宏 会長

去る6月30日(木)午前10時よりサンラ
ポーむらくも(松江市殿町)において、出
席総代112名(内本人出席46名、委任状
による出席5名、書面による出席65名)に
より第17回通常総代会が開催されました。

ごあいさつ

代表理事 岸 宏

開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げ
ます。
本日第17回通常総代会を開催致しま
したところ、総代皆様方には何かとご
多難の央ご出席を賜わり、厚くお礼を
申し上げます。

さて令和3年度の漁業をめぐる環境
は主要魚種の資源の悪化、長期化する
コロナ禍の影響による消費の減退と魚
価低迷、更には本年2月のロシアによ
るウクライナ侵攻に起因する国際情勢
悪化に伴う物価高、燃油資材価格の高
騰等極めて厳しいものがありました。

このような中で本県漁業の総漁獲量
は8万9,000トン、総生産額は
151億円と漁獲量は前年を維持した
ものの総生産額は4億円減少し過去5
年間で最も低い年でありました。

又、漁業生産コストの大宗を占める
燃油価格については国際的な原油市況
の逼迫により急激に上昇し120円ま
で上昇しましたが、漁業経営セーフテ
ィーネット構築事業による燃油価格補
てんが全期間で発動すると共に、本年1

月から元売りに対する国の燃油価格激
変緩和補助金の交付が開始され、供給価
格がある程度抑制できた事は漁業経営
に対する大きな支えでありました。
一方、昨年は70年振りに改正された
漁業法が施行され資源管理と漁業の成
長産業化に向けてスタートした年であ
りました。

このような中で私共は浜の活力再生
プランに基づき水産業の競争力強化と
所得向上に取組むための「漁船リース
事業」や「機器導入対策事業」に加え
て、水産業成長産業化沿岸地域創出事
業(漁具リース事業)を積極的に活用
推進して参りました。

この厳しい環境下で、組合運営につ
きましては前年度の大幅な損失を踏ま
え、より効率的な運営と共販事業等の
拡大に役員一丸となって取組んだ結
果、今年度は経常利益3,700万円、
当期剰余金1,600万円を計上、適
正な内部留保を確保できました。これ
も偏に組合員各位のご協力の賜であり
深く感謝申し上げます。

本総代会には令和3年度決算及び令
和4年度事業計画等諸案件を上げして
いますので充分ご審議のうえ原案ご承
認頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが昨年度は任期満了
による役員改選が本年度末に決着、新
しい執行部体制がスタートした事はご
案内の通りであります。総代組合員各
位の今後一層のご協力をお願い申し上
げ開会のご挨拶とさせていただきます。

監事5名

- 代表監事 神門 勉(令和4年3月31日)
- 監事 川上清忠(令和4年3月31日)
- 監事 梅木 清(令和4年3月31日)
- 監事 橋本竜介(令和4年3月31日)
- 常勤監事 鍛冶和伸

- 理事 青山善一郎
- 理事 福間文雄
- 理事 牧野 一
- 理事 寺本 太(令和4年3月31日)
- 理事 小川喜美夫(令和4年3月31日)
- 理事 月森久樹(令和4年3月31日)
- 理事 福田 薫(令和4年3月31日)
- 理事 金坂敏弘(令和4年3月31日)
- 理事 井上孝夫(新任)

新役員名簿

理事15名

- 代表理事長 岸 宏
- 副会長理事 中島謙二
- 代表理事専務 中尾由岐夫
- 常務理事 福本匡弥
- 常務理事 福島英治(令和4年3月31日)
- 理事 野津千寿夫

貸借対照表

□ 令和4年3月31日現在

(単位:円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	37,786,032,571	1 信用事業負債	38,908,732,195
2 共済事業資産	1,426,675	2 共済事業負債	53,037,395
3 流動資産	1,745,037,662	3 流動負債	2,066,516,477
(1) 経済事業未収金	1,386,387,342	(1) 経済事業未払金	1,801,819,451
(2) 経済事業雑資産	37,603,085	(2) 経済事業雑負債	30,175,056
(3) 棚卸資産	551,584,596	(3) 賦課金仮受金	30,458,819
(4) その他の流動資産	80,434,043	(4) 未払法人税等	9,565,131
(5) 貸倒引当金	△ 310,971,404	(5) その他の流動負債	194,498,020
4 固定資産	8,274,067,695	4 固定負債	976,041,935
(1) 有形固定資産	4,198,479,895	(1) 長期借入金	364,000,000
減価償却資産	13,724,506,269	(2) リース債務	0
減価償却累計額	△ 11,684,410,296	(3) 受入保証金	580,150,590
土地	2,158,383,922	(4) 出資預り金	31,891,345
(2) 無形固定資産	2,522,548	5 諸引当金	1,657,112,040
(3) 外部出資	4,066,506,172	(1) 賞与引当金	43,313,140
系統出資	3,566,703,990	(2) 退職給付引当金	1,515,929,900
系統外出資	479,630,678	(3) 役員退任慰労引当金	92,869,000
子会社等出資	20,171,504	(4) 遭難救助引当金	5,000,000
(4) その他の固定資産	617,113,313	6 繰延税金負債	131,050,746
(5) 貸倒引当金	△ 610,554,233	7 再評価に係る繰延税金負債	19,341,721
		負債の部合計	43,811,832,509
		(純資産の部)	
		1 出資金	2,768,220,000
		2 資本準備金	13,536,562
		3 利益剰余金	1,317,550,208
		(1) 利益準備金	781,943,449
		(2) その他利益剰余金	535,606,759
		特別積立金	519,268,359
		当期末処分剰余金	16,338,400
		(うち当期剰余金)	(16,338,400)
		4 処分未済持分	△ 156,310,000
		組合員資本合計	3,942,996,770
		1 評価差額金	51,735,324
		土地再評価差額金	50,584,964
		その他証券評価差額金	1,150,360
		純資産の部合計	3,994,732,094
資産の部合計	47,806,564,603	負債及び純資産の部合計	47,806,564,603

令和3年度

決算状況

令和3年度決算の概況は次のとおりです。
本組合事業にご協力賜りました組合員各位、
関係者の皆様に厚くお申し上げます。

損益計算書

□ 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円)

科 目	金 額
1 事業総利益	1,613,762,311
信用事業総利益	185,666,866
共済事業総利益	28,229,108
購買事業総利益	476,613,314
販売事業総利益	966,523,673
製氷冷凍事業総利益	△ 60,152,874
加工事業総利益	100,215
利用事業総利益	△ 17,262,327
漁業自営事業総利益	0
指導事業収支差額	34,044,336
無線事業収支差額	0
2 事業管理費	1,696,719,633
(1) 人件費	1,098,955,121
(2) 旅費交通費	13,138,977
(3) 業務費	56,236,269
(4) 諸税負担金	59,157,534
(5) 施設費	324,013,973
(6) 減価償却費	124,418,462
(7) 雑費	20,799,297
事業利益	△ 82,957,322
3 事業外収益	145,471,193
4 事業外費用	24,624,542
経常利益	37,889,329
5 特別利益	0
6 特別損失	8,289,059
税引前当期利益	29,600,270
法人税・住民税及び事業税	7,416,000
法人税等調整額	5,845,870
当期剰余金	16,338,400
前期繰越剰余金	0
当期末処分剰余金	16,338,400

事業計画

令和4年度においては中長期的視野に立つて、これまでの成果と反省を真摯にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするため、目標である「組合員所得の向上」の実現のため、国の水産業成長産業化沿岸地域創出事業及び水産業競争力強化緊急支援事業等を積極的に活用しながら本県漁業の再構築を目指し、組合員・役員一丸となつて取り組むものとする。

部門別重点推進事項

- 1. 販売事業**
① JF市場への組合員全出荷体制の確立に努める。
② 販売事業統括部を核とする各支所販売部門間の連携を強化する。
③ 組合員への市況等の情報周知と出荷指導に努める。
④ 新型コロナウイルス感染症の影響回復のため魚食普及・魚価向上・流通経費削減対策へ積極的に取り組む。

2. 購買事業

- ① 燃油価格対策に積極的に取り組む。
- ② 漁業経営安定セーフティネット構築事業の積極活用に取り組む。
- ③ 石油購買事業における物確保と安価供給に努める。
- ④ 魚箱安価供給体制の確立を図る。
- ⑤ 在庫管理の徹底と取扱品目の見直しを行う。

3. 信用事業

- ① 貯蓄推進委員会等との連携による貯蓄量37.6億円の達成を目指す。
- ② 信用事業リスク体制整備と自己資本比率向上を図る。
- ③ 漁業信用保証業務との連携による漁業経営改善の支援を行う。
- ④ 信用事業店舗の再編整備を行う。

4. 共済事業

- ① 共済事業推進検討委員会・共水連との連携によりチョコー28億5千万円、くらし20億7千万円の達成を目指す。
- ② 『チョコー』は、万一の場合などを保障しながら貯蓄機能もあるJF共済を代表する長期の生命共済で、入院や通院などお客様のニーズにあった保障が選択できる共済である。

5. その他の事業

- ① 冷凍冷蔵事業については、新型コロナウイルス感染症の影響回復のため、販売部門との連携を強化し、魚価の安定と向上に積極的に取り組むとともに、境港冷凍冷蔵庫を核とする恵曇・浜田・益田各冷凍冷蔵庫稼働率向上と輸出货量増大に努める。
- ② 製氷事業については、販売部門との連携強化による稼働率向上に努めるとともに、大田製氷工場の効率的運用と稼働率向上を図りながら、境港・大田・浜田製氷工場を核とする水供給体制を構築する。
- ③ 加工事業については、既設の加工施設の再点検・リニューアルにより新規活用を図るとともに、不採算事業の整理と新規事業開拓に取り組む。

- ④ 「JFしまね漁業無線局」を有効に活用し、組合員への気象情報及び海上防犯情報、漁海況速報の提供による海難事故の未然防止と操業効率の向上に努める。

- ⑤ 指導事業については、漁政対策活動としての水産基本政策、輸入水産物・TPP問題への対応とともに、200海里水域対策における日韓協定・暫定水域民間協議対策や暫定水域、EIZにおける韓国漁船対策、竹島領土権確立運動の積極的展開と安全操業対策、漁場機能回復管理協力事業「海底清掃事業」及び外国漁船被害救済支援事業「監視活動」等の円滑実施を図る。漁業振興対策としての浜の活力再生プランの実践推進、水産業成長産業化沿岸地域創出事業及び水産業競争力強化緊急事業の活用による漁船リース事業、漁具リース事業、機関換装・機器導入事業、産地施設整備事業の実施による漁業構造改革の推進、担い手、後継者育成対策や繁殖保護・漁場管理・資源管理・所得補償、営漁指導、生産、販売流通対策、遭難救助・操業安全対策、漁業生産力の発展に関する計画の実施等を行う。

令和4年度賦課金の徴収について

総代会で承認された賦課金の徴収につきましては、次のとおりです。

□賦課金の金額

正組合員 年間3,000円
准組合員 年間2,000円
JFしまね漁業無線局賦課金徴収については、次のとおりです。

□賦課金の金額

区分	年額
漁業種別賦課額	
沖合底曳網 (2そう曳1ヶ統)	216,000円
沖合底曳網 (1そう曳)	108,000円
旋網 (100t以上船1隻あたり)	100,000円
旋網 (100t未満船1隻あたり)	搭載する無線機種別賦課金額とする。
無線機種別賦課額	
27メガ DSB 1W	16,800円
27メガ SSB 25W	30,000円
40メガ DSB 5W	30,000円
40メガ DSB 5W (准加入)	36,000円

※無線機併設船については、高額な方の賦課額とする。

令和4年度主要事業取扱計画

□令和4年4月1日から令和5年3月31日 (単位:千円)

部門	金額	
購買事業	石油類	6,555,735
	資材類	729,508
	合計	7,285,243
販売事業	受託販売取扱高	18,228,837
	買取販売	2,300,150
	合計	20,528,987
冷凍冷蔵事業	冷凍品販売高	1,235,565
	保管料	172,624
	合計	1,408,189
製氷事業	氷供給高	474,145
加工事業	加工品販売高	600
利用事業	受入利用料	71,692
経済事業総取扱高		29,768,856
信用事業 (平均残高)	貯金	37,640,000
	預け金	31,264,000
	貸出金	4,407,000
	普通厚生共済(チョコー)	24,000,000
	生活総合共済(くらし)	10,000,000
	合計	34,000,000
長期共済保有高	ねんきん	23,000
	乗組員厚生共済(ノリコー)	6,000,000
共水連元受契約に係るもの	火災共済(カサイ)	23,000,000
	合計	29,000,000

令和4年度収支計画

□令和4年4月1日から令和5年3月31日 (単位:千円)

科目	金額
1. 事業総利益	1,754,477
(信用事業総利益)	166,288
(共済事業総利益)	31,849
(購買事業総利益)	490,711
(販売事業総利益)	951,486
(買取販売事業総利益)	69,004
(冷凍冷蔵事業総利益)	△ 9,000
(製氷事業総利益)	44,295
(加工事業総利益)	145
(利用事業総利益)	△ 23,071
(その他事業総利益)	0
(無線事業総利益)	0
(指導事業収支差額)	32,770
事業収益計	13,468,749
事業直接費計	11,714,272
2. 事業管理費	1,710,434
(1) 人件費	1,127,060
役員報酬	56,600
給料手当	771,308
備人料	65,832
法定福利費	159,057
厚生費	10,045
退職給付費用	56,543
役員退任慰労引当金繰入	7,675
(2) 旅費交通費	12,000
(3) 業務費	57,276
会議費	1,236
接待交際費	125
広告宣伝費	35
通信費	30,451
印刷消耗品費	19,019
図書研修費	3,910
支払報酬	2,500
(4) 租税公課	42,591
(5) 負担金	17,375
(6) 施設費	348,407
保守修繕費	98,721
保険料	24,868
水道光熱費	84,561
賃借料	67,807
消耗品費	5,432
車輛経費	37,958
施設管理費	29,060
(7) 減価償却費	86,741
(8) 雑費	18,984
事業利益	44,043
3. 事業外収益	122,941
4. 事業外費用	1,242
経常利益	165,742
5. 特別利益	0
6. 特別損失	1,016
税引前当期剰余金	164,726
法人税・住民税	7,416
法人税等調整額	△ 10,000
当期剰余金	167,310

漁業協同組合JFしまね臨時総代会

去る9月30日(金)午前9時30分より島根県水産会館(松江市御手船場町)において、出席総代112名(内本人出席1名、書面による出席111名)により臨時総代会が開催されました。総代会は冒頭に岸宏JFしまね会長の挨拶で開会、議事に移りました。議長には美保関地区・松本美夫氏が選任され、以下の通り審議がなされました。
□第一号議案 令和3年度剰余金処分案の変更に関する件
提出された議案は原案通り承認されました。

各業種別団体総会概要

出雲地区
定置網組合連合会

書面決議による（コロナ禍）
書面決議日 令和4年5月16日
第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算書の件
第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の件
※全議案とも原案通り承認
会長 西村昭充（御津大敷網組合）
副会長 藤原俊一（株笠浦大敷網漁業）
理事 樋野博実（株十六島大敷）
理事 宮本輝雄（七類定置網漁業株）
理事 柳楽和利（多伎町海洋観光開発株）
監事 小灘初務（有野井定置漁業）

島根県かにかご漁業組合

書面決議による（コロナ禍）
書面決議日 令和4年6月2日
第1号議案 令和3年度事業報告書
収支決算書並びに正味財産処分案の承認について
第2号議案 令和4年度収支予算書の承認について
第3号議案 令和4年度会費の賦課及び徴収方法について
※全議案とも原案通り承認
組合長理事 利見秀治（株利見水産）
副組合長理事 岩本和美（有清幸丸）
副組合長理事 長崎俊行（漁徳水産有）
副組合長理事 白浜輝美
理事 梅崎聖也（有梅崎水産）

島根県小型底曳船協議会

書面決議による（コロナ禍）
書面決議日 令和4年6月30日
第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算書承認の件
第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算書承認の件
第3号議案 会費の額並びに徴収時期及び徴収方法について
※全議案とも原案通り承認
会長理事 堀 康雄（第二新漁丸・久手）
副会長理事 月森康行（宝生丸・和江）
副会長理事 松村孝秋（琴代丸・仁摩）
理事 渋谷 勇（宝来丸・和江）
理事 米田博泰（第一浩安丸・久手）
理事 森山弘道（松島丸・久手）
理事 中島典生（第二幸神丸・和江）
理事 辻 俊幸（五十猛丸・五十猛）
理事 吉田善幸（昭吉丸・和江）
理事 山根隆二（玉千代丸・仁摩）
理事 水上克之（三和丸・仁摩）
監事 渋谷晋也（海慶丸・久手）
監事 中島 亮（第三正運丸・和江）

（一社）島根県
機船底曳網漁業連合会

書面決議による（コロナ禍）
書面決議日 令和4年10月14日
開催場所 浜田市内
第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
第2号議案 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件
第3号議案 役員改選の件
第4号議案 「もうかる漁業創設支援事業」に係る実証事業に用いる漁船の選定の件
第5号議案 浜田地域の水産業構造改革の推進に関する協定の件
※全議案とも原案通り承認
代表理事 金坂敏弘（有浜吉水産）
理事 浜村尚登（有福宝水産）
監事 室崎拓勝（株浜田あけぼの水産）

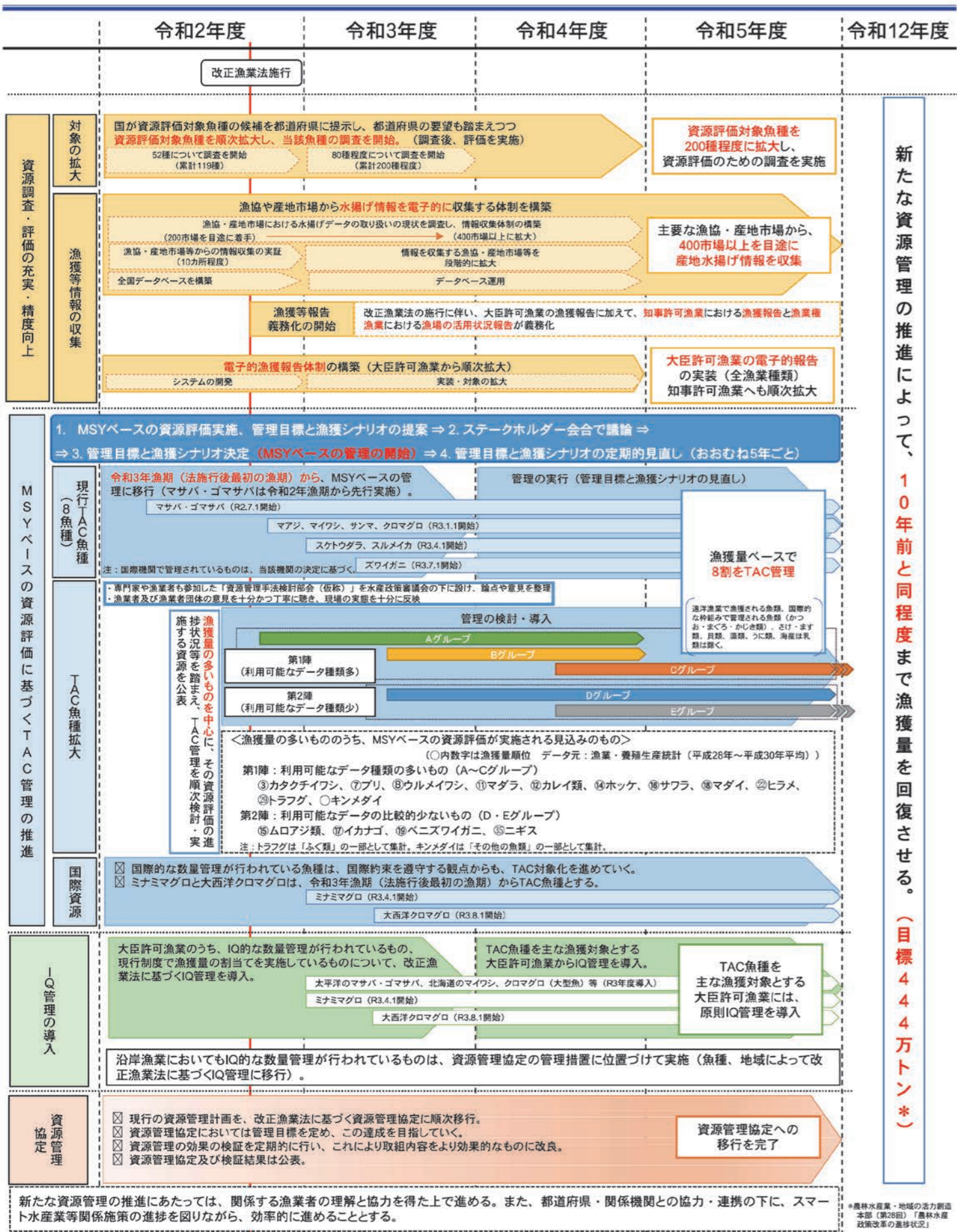
出雲地区延縄一本釣
漁業組合連合会

書面決議による（コロナ禍）
書面決議日 令和4年5月30日
第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算書承認の件
第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算書承認の件
※全議案とも原案通り承認
会長 寺本 太（美保中央）
副会長 仙田安春（松江市）

島根県まき網漁業協議会

開催日 令和4年7月9日
開催場所 松江市水産会館
第1号議案 令和3年度決算報告について
第2号議案 令和4年度事業計画（案）
及び収支予算（案）について
※全議案とも原案通り承認

新たな資源管理の推進に向けたロードマップ



*農林水産省・地域の漁業資源本部（第28回）「農林水産政策改革の進捗状況」

漁船リース事業(水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業)による新造漁船進水

このほど漁船リース事業により、(一社)しまね水産業構造改革サポートは2隻の新造漁船を導入しました。海上安全のもと、浜の担い手として、今後益々の大漁と一層のご活躍をお祈りいたします。

【令和4年5月26日進水】

- ・船名 第六十八かがみ丸
- ・使用者 株式会社利見水産
- ・漁業種類 はえなわ漁業(べにずわいがに)
- ・主たる根拠地 島根県出雲市
- ・船質 鋼
- ・総トン数 122トン
- ・推進機関 ジーゼル 735kw

【令和4年7月22日進水】

- ・船名 宝吉丸
- ・使用者 吉田 学
- ・漁業種類 小型底びき網漁業
- ・主たる根拠地 島根県大田市
- ・船質 アルミ軽合金
- ・総トン数 14トン
- ・推進機関 ジーゼル 670kw

第六十八かがみ丸



宝吉丸



信用部からのお知らせ

特殊詐欺が依然として頻発しています。

左記は、最近実際に県内であった事例ですので絶対に騙されないようにお気を付けてください。

- ①松江市内のお宅に、松江警察署の捜査二課や銀行協会を名乗る者から「逮捕した犯人が不正に口座を作っている。不正な出金は無いか。」との詐欺電話がありました。この電話は、警察や銀行協会の職員を名乗る者が家まで来て、通帳やキャッシュカードを預かるうとしていたり、暗証番号を聞き出そうとします。
- 通帳やキャッシュカードは他人に渡さない、送らないで下さい。
- 口座番号や暗証番号は他人に教えないで下さい。
- 通帳やキャッシュカードの話が出たら詐欺を疑って下さい。
- 犯人は留守番電話を嫌がり、留守番電話機能がある方は常に留守番電話設定にし、相手を確認してから電話に出して下さい。
- ②益田市内において、市役所職員や金融機関の職員を名乗る者から「口座の給付金がある。手続きに封書を送っている。使っている金融機関はどこですか?」等と言われ、口座番号やキャッシュカードの暗証番号等を聞かれる事案が複数発生しています。相手に口座番号や暗証番号を教えたり、相手の指定する電話番号に電話を架けると知らないうちにインターネットバンキングの口座を開設されて口座から勝手に送金されるおそれがあります。
- 市役所や金融機関の職員が電話で「口座番号や暗証番号等の重要情報を聞くことはありません。」
- ③浜田、益田市内の高齢者宅に市役所の職員や金融機関の職員を名乗り、「コロナの給付金があります。」「支給手続きがされていないので、電話で手続きをお願いします。」「この金融機関を使っていますか。」という内容の電話がかかってきました。
- 電話で給付金の手続きをすることはありません。
- キャッシュカードの番号や暗証番号などを聞かれたら詐欺です。
- 万が一、口座番号や暗証番号を覚えてしまった場合は、口座から全額おろすまたは別の口座に移してください。

島根県下一斉海浜清掃活動

今年も7月の「海の日」を中心に、県下一斉海浜清掃活動が実施されました。

新型コロナウイルス感染症をうけ、昨年引き続き各支所自治会等へ活動実施の判断を委ね、本年は8支所28地区(例年は10支所約40地区)で計画されました。ところが7月に入り、一日当たりの感染者数が連日過去最多を更新するなど猛烈な第7波の直撃により、予定してい

た活動を中止する地区、また外部からの参加を見合わせ地区内で完結したいとの要望もよせられたことから、系統団体や島根県当局等の参加協力を取り止め、最終的に3支所11地区での実施となりました。来年こそは、全ての地区において関係の皆さん参加のもと、きれいで豊かな島根の海に繋がる活動となりますよう、切に願っています。



電話でお金の話が出たら、ご家族、JFマリンバンク、最寄りの警察署、交番、駐在所、警察相談電話【#910】にご相談ください。





中学年の部

出雲市立大津小学校 4年
岡本 杏樹

画題
「日のみさきで 見えるけしき」

東洋一の高い灯台、日御碕の風景を描いたこの作品は、何よりも水彩表現が素晴らしい。すくっと立つ灯台を中央に配し、圧倒的な存在感を表現した。灯台の壁面は緻密、丁寧に仕上げ、空の青、海の青に白亜の灯台が映えて美しい。ここまで気持ちよく水彩絵の具を使う達者な表現力は、今後の成長が本当に期待される作品。



第42回 島根県 海の子絵画展 開催!

去る10月14日(金)、島根県水産会館において、第42回島根県海の子絵画展の審査会が開催されました。
この絵画展は小学校児童を対象に、絵画を通じて島根の海や沢山の魚また漁業に対し、より一層深い関心を持って親しんでもらうことを目的として開催されており、今年は県内60の小学校から414作品が寄せられました。
審査会の結果、最優秀賞の島根県知事賞に、松江市立城北小学校2年大畑 健さん、出雲市立大津小学校4年岡本杏樹さん、隠岐の島町立都万小学校5年安部柑菜さんが選ばれました。
島根県知事賞の3作品は東京で開催される第45回全国海の子絵画展へ出展することとしています。
その他、入賞作品は下記の通り。

低学年の部

松江市立城北小学校 2年
大畑 健

画題「海の中をのぞいてみたら」

海中を下から見上げた視点がユニークで、「広がりのある深い海を覗いてみたい。」そんな子どもの興味と関心がダイナミックに描かれている。静かな広がりのある深く美しい海に触れた感動がうまく表現され、海に親しむ様子が伝わる素晴らしい作品。



総評

子どもたちの海と漁業への関わり、その理解を深めて、続く本絵画展。昨年よりも多く寄せられた今年の作品は、どの作品も自由に伸び伸びと描かれ、人の生き生きとした姿や絵にストーリーを感じる作品が多かった。島根にこれだけ描くことの好きな子どもたちがいること、その熱意溢れる表現がこれだけ寄せられたことに心から感謝したい。
これからも独創性のある子どもらしい作品が集うことを強く願いながら、関係者の熱意とご努力に敬意を表する。



高学年の部

隠岐の島町立都万小学校 5年
安部 柑菜

画題「海からのめぐみ」

港で水揚げされたばかりの魚の選別と箱詰めする漁師さんをテーマにした作品。鮮度の良さが伝わる魚の丁寧な描写が大変美しく、この前景から中景にある大きな船がきちんと描かれている。船を歩く人がいるのがこの絵の真ん中の素晴らしいところ。さらに遠くにある緑が丁寧に書かれて美しい。これらのコントラストはまさに海からの恵みを感じさせる作品となっている。



受賞一覧

農林中央金庫賞(3名)

- 松江市立津田小学校 1年 伊藤優奈
- 夕陽の海でお父さんと
- 出雲市立長浜小学校 3年 小川琴実
- 「きれいないなさの浜」
- 松江市立川津小学校 6年 永海俊輔
- 「こここの思い出」

山陰中央新報社賞(3名)

- 出雲市立北陽小学校 2年 大野紗瑛
- 「かっこいい船」
- 出雲市立北浜小学校 3年 樋野京花
- 「くらしま」
- 益田市立高津小学校 6年 熊谷航一
- 夕日

漁業協同組合

JFしまね会長賞(6名)

- 出雲市立長浜小学校 2年 藤江音寧
- 「がんばった海のお仕事」
- 松江市立古志原小学校 2年 坂根裕典
- 「アジウ」
- 益田市立安田小学校 4年 富澤敬太
- 「おこしい魚をのぞくぞ」
- 益田市立高津小学校 4年 熊谷優里
- 「夜のいざなひ」
- 出雲市立大社小学校 6年 阿部風沙
- 「手籠の船」
- 松江市立佐太小学校 6年 吉岡心咲
- 「古浦の浜からカヌーの旅」

佳作(18名)

- 出雲市立北陽小学校 1年 秋風百萌子
- 「うりゆくのきれいなうみ」
- 出雲市立北陽小学校 1年 影山 杏
- 「みんなが仲よくしているよ」
- 島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程
- 「みんなであそびにいったよ」
- 出雲市立北陽小学校 2年 目賀涼羽
- 「わたしのゆめ」
- 「イルカにのってすてきな世界へ!」
- 出雲市立北陽小学校 2年 影山陽大
- 「わあ〜 大きい魚! つちやった!」
- 松江市立法吉小学校 2年 山下春陽
- 「うみのアスレチックで大ジャンプ」
- 松江市立島根小学校 3年 梶野心晴
- 「みなこの風けい」
- 出雲市立大津小学校 3年 富岡 陽
- 「夏のキラ」
- 出雲市立湖陵小学校 3年 中尾理人
- 「かがやく海とさよう和丸」
- 出雲市立大社小学校 4年 石飛武琉
- 夕日の海と鳥
- 松江市立出雲郷小学校 4年 古藤実希
- 「玉湯川」
- 出雲市立長浜小学校 4年 石飛円香
- 「大好きな地元の家」
- 松江市立揖屋小学校 6年 福岡花香
- 「港」
- 松江市立佐太小学校 6年 田村実織
- 「島根の漁業といえはシジミ漁」
- 出雲市立大津小学校 6年 富田伶奈
- 「園造りの神話へS道」
- 松江市立古志原小学校 6年 花田千歳
- 「海Sunny」
- 出雲市立湖陵小学校 6年 森山あかり
- 「色とりどりの魚たち」
- 出雲市立四給小学校 6年 藤原琴葉
- 「いか釣り漁船」



境港水産物地方卸売市場 2号上屋完成

鳥取県境港水産物地方卸売市場の主要施設の一つである2号上屋が完成し、去る8月11日、現地境港市昭和町にて開場の式典が執り行われました。県が進める境港港の高度衛生管理型漁港・市場整備の一環で、令和元年6月に供用開始となった1号上屋・陸送上屋に続くものとなります(全体工事の完了は令和6年を予定)。この2号上屋(2階建て)の1階は高度な衛生管理を可能とした沖合底曳網漁船専用のもので、2階部分は、境港おさかなパークと銘打ち、季節の魚やカニを飼育展示する展示ホール、市場関係者と一般来場者が安心して施設を見学できる監視デッキや回廊型の見学通路からなる無料施設と、調

理実習室・お魚学習室・研修室の有料施設を完備する、まさに体験型の観光拠点が共有された有意義なものとなっております。また、2階北側にはJFしまね境港支所をはじめとする関係者事務所が連なります。全国でも稀な三つの卸売業者からなる本市場において、JFしまね所属の隠岐島・島根半島東部地域の漁獲物を中心とした境港支所の取扱金額は今や5割を超えています。なにかと沈んだ話題ばかりの昨今、浜が湧き上がるような大漁を願いつつ、全国有数の水揚げを誇る重要な産地魚市場としての魅力を十分に発信し、『安心と安全が進化するみなと』となりまことを期待します。



長さ約140mの回廊型通路



境水道を望むオープンテラス



魚やカニの飼育展示・エサやり体験、漁港・市場設備や周辺観光施設の紹介等



温かい真心に感謝

※漁船海難遺児を励ます島根県地方協議会へご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚くお礼申し上げます。

- 【募金・香典返し】
 島根県水産課
 島根県沿岸漁業振興課
 日本漁船保険組合島根県支所
 全国合同漁業共済組合島根県事務所
 全国共済水産業協同組合連合会島根県事務所
 全国漁業信用基金協会島根支所
 JFしまね本所
 JFしまね美保関支所
 JFしまね平田支所
 JFしまね西郷支所
 JFしまね松江魚市場
 福島 健一



出荷準備スペース



仲買業者が出荷準備を行う

まぐろデッキ



夏限定でマグロの陳列や入札の様子を間近で体験

活魚水槽



15㎡型6基、自動ろ過、水温2~28℃

シャーベットアイス



供給量50トン以上/日

前室



手洗い、長靴を洗浄する

セリ場



水産物のセリ・入札を行う

編集後記

今年も残すところあとわずか。暗い話題ばかりが目立つ一年でありました。来年の干支は、その姿から飛躍を表わす「うさぎ」です。今は跳ね上がるための準備期間ということで、忘れ物がないようしっかり確認したいと思っております。寒さもいよいよ本番を迎えます。皆様どうぞご自愛頂きますよう。(Y)

皆様からのご意見や感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。郵便、メール、ファックスなどでお寄せください。

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地
漁業協同組合JFしまね「明るい漁村」 係
 E-mail shidou@jf-shimane.or.jp FAX 0852-27-6130
 本誌のバックナンバーをPDFにてホームページで公開しています。
 【JFしまねWEBサイト】
<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>